

## 町独自の支援策を 機は熟す 課題整理し判断



おくとつや 議員  
澳本 哲也

**問** 少子化対策を国も今  
まで以上に支援策を打ち  
出しているが、当町とし  
て独自の支援策を考えて  
いるか問う。

**答** 佐田 健康福祉課長

国は、若年人口の急激  
に減少する2030年代  
に入るまでが、急速な少  
子化、人口減少に歯止め  
をかけることが出来るラ  
ストチャンスと捉え、こ  
れから3年間を集中的に  
取り組む加速化プランの  
期間として、出来る限り  
前倒しをして進めていく。  
具体的な施策として、

児童手当の拡充、出産時  
の経済的負担の軽減、高  
等教育費の負担軽減、個  
人の学び直し、子育て世  
帯に対する住宅支援の強  
化、妊娠から出産までの  
切れ目のない伴走型支援  
保育の質の向上など多岐  
にわたる施策が検討され  
ている。

町として、現在進行中  
である第2期子ども子育  
て支援計画を踏まえ、令  
和6年度に第3期子ども

子育て支援計画を策定す  
ることになっている。本  
年度中に策定される子ど  
も大綱で国の動向を踏ま  
え、子どもや保護者の声  
を反映させた計画をたて  
ていきたいと考えている。  
町が次年度に取り組む  
施策については、今後  
優先順位を含め、検討を  
進めていく。

**問** 15歳までの医療費支  
援を、18歳まで延長でき  
ないか。

また、16歳以上18歳ま  
での医療費は、概算でど  
のくらいか問う。

**答** 佐田 健康福祉課長

子ども未来戦略方針案  
の中で、高等教育の負担  
軽減が取り上げられてお  
り、奨学金制度や授業料  
等の減免、給付型奨学資  
金等が支援策として挙げ  
られている。  
理想の子どもの数を持  
てない大きな理由の一つ

に教育費の負担があり、  
特に高等教育については、  
喫緊の課題とされている。

2024年度中の児童  
手当の拡充について検討  
が進められており、高校  
卒業まで示されている。  
町として医療費につい  
ても、これまで実施の検  
討をしてきたが、少子化  
対策の一つの施策として  
も、本年度中に国が策定  
をする子ども大綱の内容  
を確認しながら情報収集  
をし、子育て施策全体と  
して検討を進めたい。

**答** 松本町長

近隣の自治体でも実施  
している。財源は別とし  
て、機は熟していると思  
う。子育て支援事業に対  
する課題、全て整理しな  
がらしかるべきとき、  
しっかりと判断をし  
ていきたい。



4歳、5歳児123名による太鼓教室  
(6月8日 中央保育所)